

【報道関係各位】

団塊世代の定年に関する調査

- 定年後も働く予定の人は85%。
その理由は、「経済的な理由から、働く必要があるため」が70%で最多
- 「退職金+預貯金」の額は、「定年後の生活に不安を感じる額」である65%
- 定年後の生活には、「希望」を持っている人と「不安」を感じているが半々。
定年後期待することは「時間が自由になる」66%、不安なことは「経済的な不安」72%

2007年3月22日
株式会社マクロミル
(証券コード:東証一部 3730)

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:辻本秀幸)は、全国の団塊世代(昭和22~24年生まれ)の男性会社員・公務員を対象に、「団塊世代の定年に関する調査」を実施いたしました。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2007年3月6日(火)~3月7日(水)。有効回答数は515名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 定年後も働く予定の人(「働きたい」+「働きたくないが、働く予定」)は85% その理由は「経済的な理由から、働く必要があるため」が70%で最多

定年後、「働きたい」人は57%、「働きたくないが、働く予定」と回答した人は28%で、合わせて85%の人が定年後も働く意向を示しました。

また、定年後に働く理由としては、「経済的理由から、働く必要があるため」が最も高く70%、次いで「健康のため」47%、「社会との接点を持ち続けたいから」42%、「自分の技能や経験を活かし続けたいから」33%となっています。

【2】 「退職金+預貯金」の額は、「定年後の生活に不安を感じる額」65%

退職金と預貯金を合わせた額は、退職後の生活を送るにあたって「不安を感じる額である」と回答した人は39%となっており、「どちらかといえば、不安を感じる額である」と回答した人は25%となっています。合計で65%の人が自分の「退職金+預貯金」の額に対して、定年後の生活に対する不安を感じているようです。

【3】 定年後の生活には、「希望」を持っている人と「不安」を感じているが半々。 定年後期待することは「時間が自由になる」66%、不安なことは「経済的な不安」72%

定年後の生活について、希望と不安のどちらが大きいか尋ねてみたところ、「希望の方が大きい(「希望の方が大きい(9%)」+「どちらかといえば希望の方が大きい(38%)」)は47%で約半数でした。

定年後に期待することは「時間が自由になる」が66%、次いで「夫婦でゆっくり過ごす」が55%。一方で定年後不安に感じることは「経済的な不安」が72%、「健康に対する不安」が49%でした。

「団塊世代の定年に関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法：	インターネットリサーチ
調査地域：	全国
調査対象：	団塊世代（昭和22年～24年生まれ）の男性会社員・公務員（マクロミルモニタ会員）
有効回答数：	515 サンプル
調査日時：	2007年3月6日（火）～3月7日（水）
調査機関：	株式会社マクロミル

I. 定年後の労働意向について

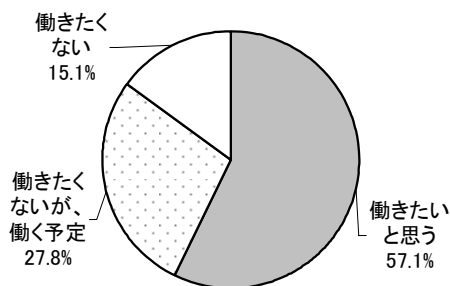
■定年後も働く予定の人（「働きたい」＋「働きたくないが、働く予定」）は85%

定年後、「働きたい」人は57%、「働きたくないが、働く予定」と回答した人は28%で、合わせて85%の人が定年後も働く意向を示しました【図1】。そのうち、定年後の仕事が「決まっている」人は22%、「決定ではないがメドは立っている」と回答した人は32%となっており、合わせて54%の人は定年後に仕事の予定があります【図2】。

定年後の仕事について、現在と同じ会社で働きたいか尋ねたところ、62%の人が現在の会社でそのまま働きたいと回答しています【図3】。また、定年後はどのような形態で働きたいか尋ねたところ、「定年前と同じようにフルタイム勤務」を希望する人は46%、一方、定年前に比べ「日数」「時間」などを削減して働きたい人は合計で50%を占めています【図4】。

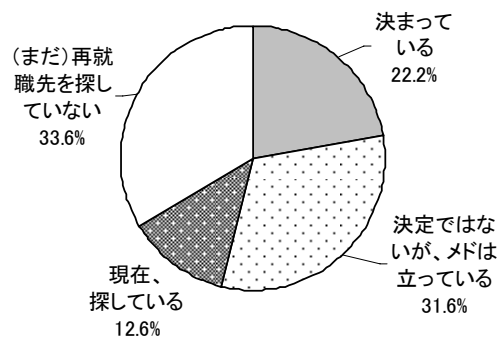
【図1】定年後について

Q.あなたは定年後も「働きたい」と思いますか。(n=515)



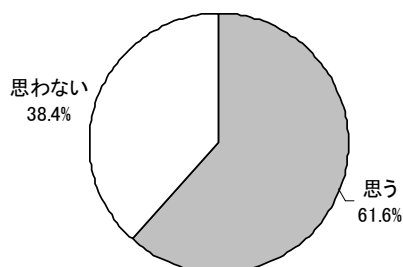
【図2】定年後の就職について

Q.あなたは現在、定年後の就職先が決まっていますか。(定年後働く予定の人:n = 437)



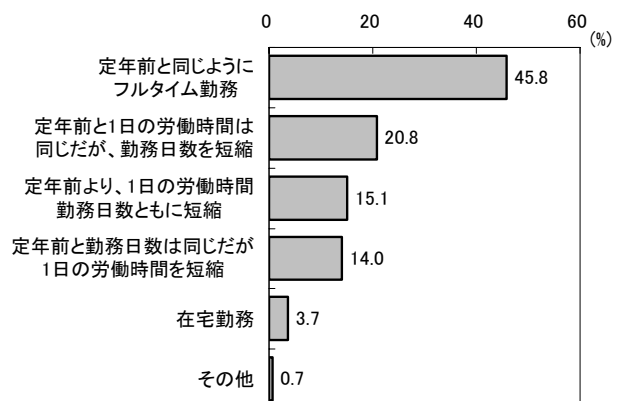
【図3】定年後も現在の会社で働きたいか

Q.あなたは定年後、現在働いている会社で継続して働きたいと思いますか。(定年後働く予定の人:n = 437)



【図4】定年後どのような形態で働きたいか

Q.あなたは定年後、どのような勤務形態で働きたいと思いますか。(定年後働く予定の人:n = 437)



■定年後も働く理由は「経済的理由から、働く必要があるため」70%

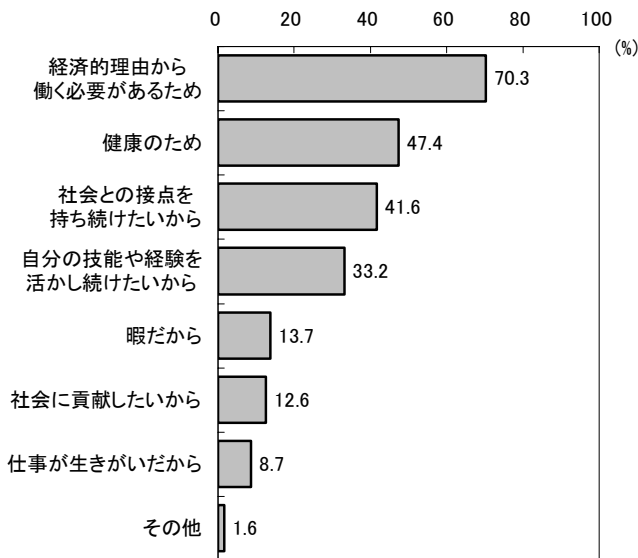
定年後働きたくない理由は「自分のために時間を使いたいから」72%

定年後も働く理由としては、「経済的理由から、働く必要があるため」が最も高く70%、次いで「健康のため」47%、「社会との接点を持ち続けたいから」42%、「自分の技能や経験を活かし続けたいから」33%となっています【図5】。一方、定年後働きたくない理由としては、「自分のために時間を使いたいから」が72%で最も高く、次いで「家族との時間を大切にしたいから」が41%となっています【図6】。

働きたいという意識の背後には‘経済的理由’が大きいと言えますが、‘健康維持’‘社会参加’という意識も同様に大きいようです。

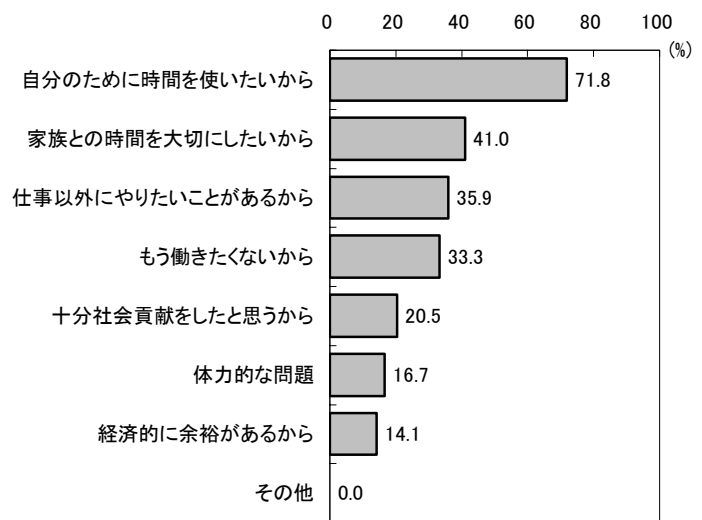
【図5】定年後も働く理由

Q.あなたが定年後も働く(働きたい)理由をお知らせください。(いくつでも)(定年後も働く予定の人:n = 437)



【図6】定年後働きたくない理由

Q.あなたが定年後「働きたくない」と思う理由をお知らせください。(いくつでも)(定年後働く予定がない人:n = 78)



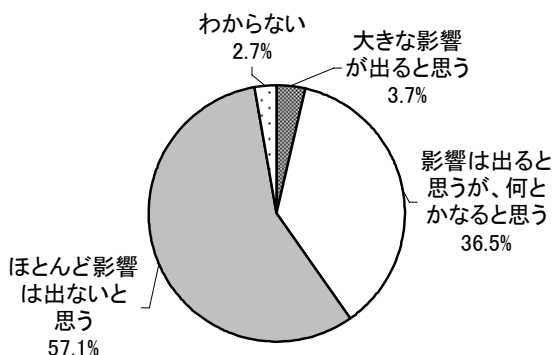
■自分が定年した後、会社への影響は「ほとんど影響は出ないと思う」57%

自分が定年した後、会社にどの程度の影響が出ると思うか尋ねてみたところ、「大きな影響が出ると思う」と回答した人は4%に過ぎず、「影響は出ると思うが、何とかかなと思う」と回答した人は37%となっています。「ほとんど影響は出ないと思う」と回答した人は57%を占めました【図7】。

影響が出ると思う人(「大きな影響が出ると思う」+「影響は出ると思うが、何とかかなと思う」)に、どのような影響が出ると思うか尋ねてみたところ、「技術的な問題(ノウハウ・技術の伝承不足による影響など)」を挙げる人が72%と最多になりました【図8】。

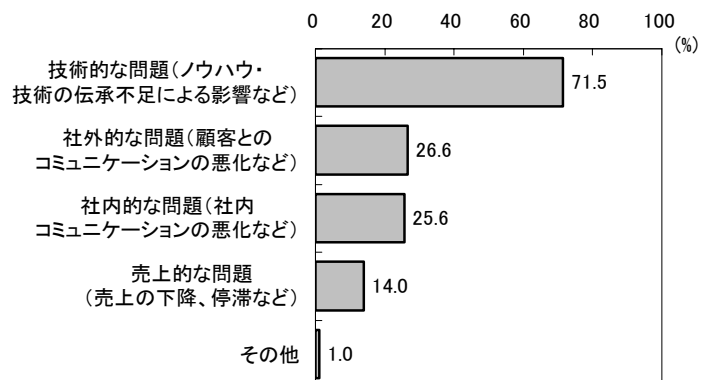
【図7】自身の定年が会社に及ぼす影響について

Q.あなたが定年退職したあと、会社に何らかの影響が出ると思いますか。(n=515)



【図8】自身の定年によって会社に及ぶ影響

Q.どのような影響が出ると思いますか。(いくつでも)(自身の定年によって会社に影響があると思う人:n = 207)



II. 退職金と預貯金について

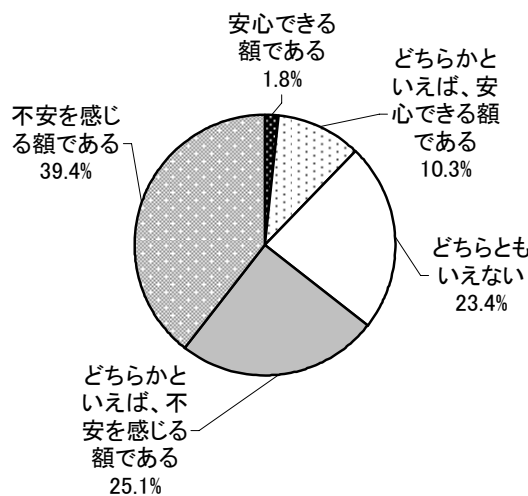
■ 「退職金+預貯金」の額は、「定年後の生活に不安を感じる額」である65%

退職金と預貯金を合わせた額は、退職後の生活を送るにあたって「不安を感じる額である」と回答した人は39%となっています。また、「どちらかといえば、不安を感じる額である」と回答した人は25%となっており、不安を感じている人の合計は65%に達しています。【図9】。

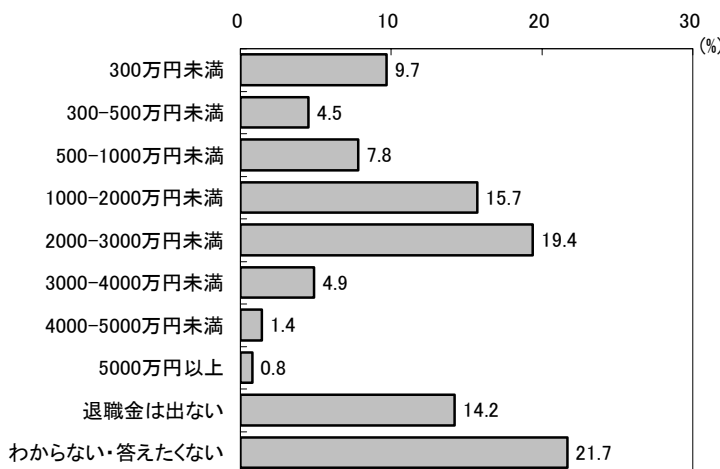
また、退職金で最も多いのは「2000～3000万円未満」で19%、次いで「1000～2000万円未満」16%となっています。一方、「退職金はない」と回答した人も14%となっています【図10】。

貯蓄額で最も多いのは「300万円未満」で18%となっています。預貯金が1000万円未満の人は42%となっています【図11】。

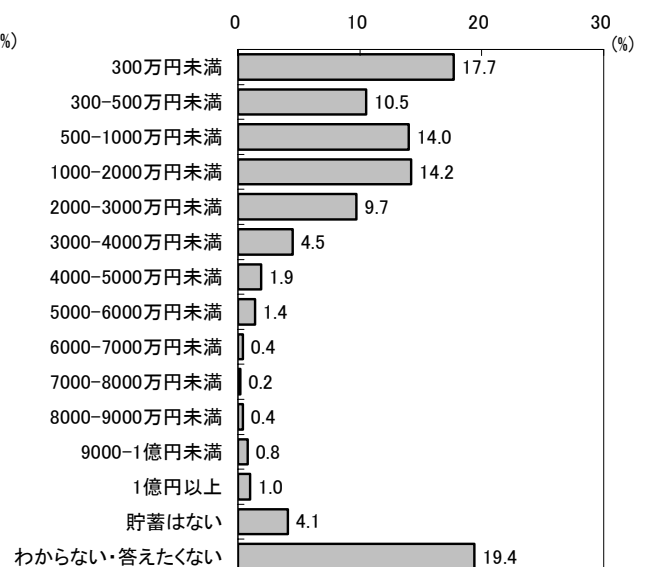
【図9】「退職金+預貯金」について
Q.あなたにとって「退職金+預貯金」は、退職後の生活を送るにあたって安心できる額ですか、それとも不安を感じる額ですか。(n=505)



【図10】退職金について
Q.あなたの退職金はどのくらいになる予定ですか。(n=515)



【図11】貯蓄額について
Q.現在あなたのお宅の貯蓄額はどのくらいですか。 ※証券・株式などの運用資産は除いてお答えください。(n=515)



Ⅲ. 定年後の生活について

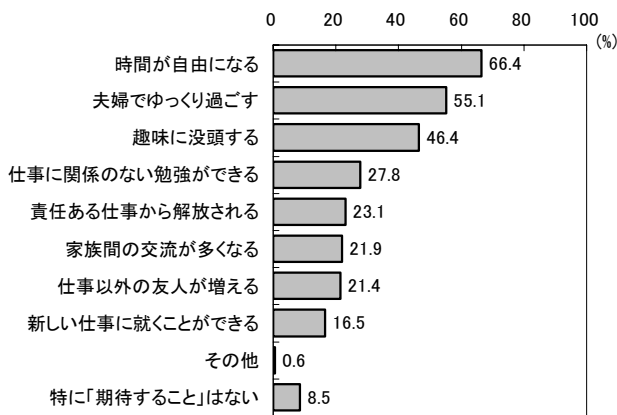
■定年後に期待することは「時間が自由になる」66%、次いで「夫婦でゆっくり過ごす」55%

定年後に対する期待としては「時間が自由になること」66%、「夫婦でゆっくり過ごすこと」55%、「趣味に没頭する」46%となっています【図12】。一方、定年後の不安としては、「経済的な不安」72%が最も高く、次いで「健康に対する不安」49%となっています【図13】。

定年後の生活は、希望と不安のどちらが大きいかな尋ねてみました。「希望の方が大きい」が9%、「どちらかといえば希望の方が大きい」が38%で、合わせて47%の人は希望の方が大きいと回答しています。一方、「不安の方が大きい」と回答した人は12%、「どちらかといえば不安の方が大きい」は41%で、合わせて53%の人が不安の方が大きいと回答しています【図14】。

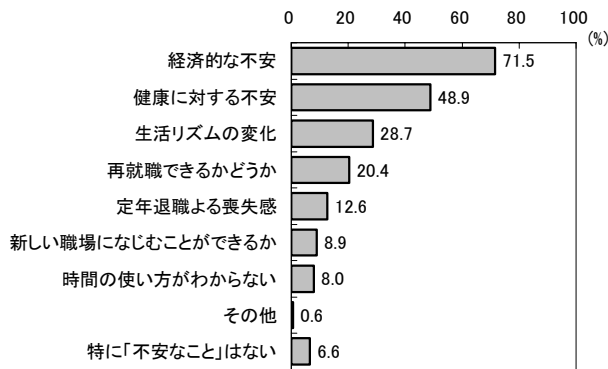
【図12】定年後に「期待すること」

Q.定年後に「期待すること」であてはまるものをお知らせください。(いくつでも)(n=515)



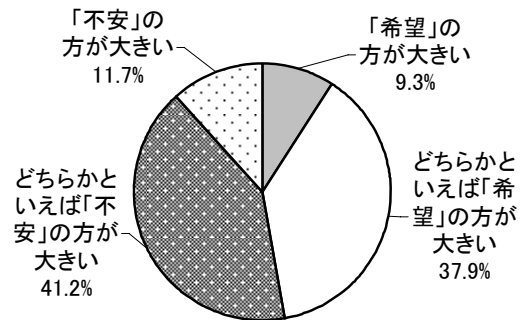
【図13】定年後の「不安」

Q.定年後に「不安なこと」であてはまるものをお知らせください。(いくつでも)(n=515)



【図14】定年後の生活について

Q.定年後の生活は、あなたにとって「希望」の方が大きいですか、「不安」の方が大きいですか。(n=515)



■定年後にしたいことは「国内旅行」が72%でトップ

定年後にしたいことは「国内旅行」が72%で最も高く、次いで「パソコン・インターネット」55%、「海外旅行」50%となっています【図15】。

【図15】定年後にしたいこと(上位20)(n=515)

順位	定年後にしたいこと	(%)	順位	定年後にしたいこと	(%)
1	国内旅行	72.0	11	家をリフォームする	18.6
2	パソコン・インターネット	54.8	12	料理	18.4
3	海外旅行	49.5	13	地域活動	17.5
4	健康のための運動(ジョギングなど)	41.4	14	新しい交友関係をつくる	17.3
5	株式投資・資産運用	35.9	15	田舎暮らし	16.7
6	スポーツ(ゴルフ・テニス・登山など)	26.6	16	芸術(絵画・楽器演奏など)	12.2
7	ガーデニング	26.6	17	海外移住・長期海外滞在	10.5
8	家庭菜園	24.7	18	起業する	9.1
9	ボランティア活動	24.1	19	英会話	7.6
10	読書	23.3	20	資格取得	7.2

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集める“ネットリサーチ”専門の市場調査会社です。

国内 47 万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000年1月31日
資本金 ■9億1,243万円 ※2005年12月末現在
上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■185名 ※2007年1月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：西沢・関
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」